

平成29年度 多自然川づくりの取組事例

平成29年度多自然川づくりにおいて、各機関より下記の多自然川づくりの取組事例について報告がありました。

機 関 名	取 組 事 例
	概 要
国土交通省 鳥取河川国道事務所	千代川上流地区の整備における多自然川づくり
	千代川上流は、和奈見の露岩（天然記念物）やカジカガエルに代表する貴重種も生息しており、河川環境に配慮した整備（河床掘削）が必要となり、整備計画に必要な固定堰の改修にあわせて、魚類等の遡上できるよう工夫をおこなっている。
山口県 土木建築部河川課	湾曲部における河床掘削事例の検証と考察
	錦川では、平成17年の出水を契機に激特事業を実施しており、事業内で湾曲部の大規模な河床掘削を行っている。①大規模な河床掘削であること②湾曲部で特殊な河道であることから、環境保全の取り組みを計画し施工を行っている。 今回は施工から約10年経過した現在の状況を検証し、考察した内容を紹介する。
広島県 土木建築局河川課	京橋川・猿猴川におけるまちづくりと一体となった水辺拠点の整備について
	京橋川・猿猴川において、民間事業者による河川敷地の営業活動が可能となる、都市・地域再生等利用区域の指定を行い、オープンカフェの営業やイベントの開催など、水辺のにぎわいづくりをおこなっている。
国土交通省 三次河川国道事務所	江の川上流域におけるオオカナダモ対策について
	江の川上流域では近年、外来水生植物・オオカナダモが増加しており、オオカナダモの繁茂が漁業や河川景観等に悪影響を与えてしまうので課題となっている。 今回は、平成28年度よりオオカナダモの繁茂抑制を目的に行っている試験施工から得られた実施結果を平成29年6月時点の段階で紹介する。
岡山県 土木部河川課	小田川の井堰改築における川づくり
	小田川河川改修工事で改築を行った矢懸井堰において、新たに設置した魚道での配慮事項について紹介し、昨年度実施した施工後の現地調査結果も合わせて報告する。
国土交通省 岡山河川事務所	百間川分流部における地域と連携した多自然川づくりについて
	百間川分流部の整備にあたっては、既存環境を保全しつつ、新たな環境や親水空間を創出するため、地域住民と連携・合意形成を図りつつ事業を実施しており、その多自然川づくりの実施状況と効果検証内容についても併せて報告する。